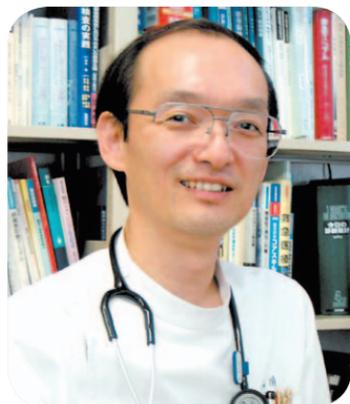
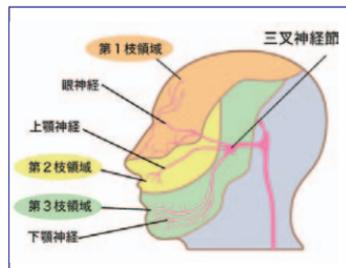


突発的な顔の痛みは、 「三叉神経痛」の可能性も



西村内科脳神経外科病院
山川 孝 先生



このような症状が
ある人は受診を

- 洗顔や化粧、髭剃りなどで顔にふれると痛い
- 歯磨きをするとびりびり痛む
- 食べ物をかむときに、顔に痛みが出る
- 鼻の横などを触ると顔面にピッと痛みが走る

※ただし痛みは数秒で治まる 等

おでこ、目の周辺、頬、口のまわりなどにビリビリと突発的な痛みが走る「三叉神経痛」。命に関わる病気ではありませんが、放っておくと辛い痛みを繰り返す場合も…。西村内科脳神経外科病
院の山川先生にお話を伺いました。

——「三叉神経痛」とはどのような病気ですか。
山川 顔の感覚(痛い、触った、冷たい、熱いなど)を脳に伝える三叉神経が圧迫されて、痛みが生じる病気です。突発的に痛くなり、数秒〜長くても数十秒で痛みが治まるのが特徴です。また、

一日の時間帯や季節による、症状がひどくなったり軽くなったたりします。

——三叉神経痛の診断はどのように？
山川 典型的な三叉神経痛は、痛みの場所・痛み
の症状・持続時間・誘発
動作などを問診すること
で、おおむね診断できま

す。MRI検査により、ほとんどの三叉神経痛の方は、脳幹部から分枝した三叉神経そのものに血管が接触しており、血管による神経圧迫が痛みの原因であることが診断できるとなりました。

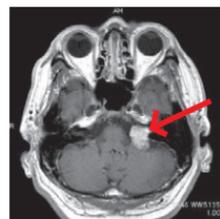
ただし、まれに脳腫瘍による神経圧迫や、血管炎が神経に波及して三叉神経痛を起こすことなどがあります。三叉神経痛の方は脳腫瘍がないこと等を確認するために、一度はMRI検査をおすすめす。

——治療法は？
山川 一番多いのは、内服薬による治療です。神経から脳への痛み刺激の伝達を抑えることで、症状を軽減します。しかし根治は難しいため、痛みが薬にならない時は、手術を検討する場合もあります。

三叉神経痛は、痛みが良くなったり悪くなったりを繰り返す、慢性の神経痛です。治療法もさまざまなのがありますので、主治医とよくご相談ください。



血管による三叉神経圧迫
(MRI画像)



良性腫瘍による神経圧迫
(MRI画像)